

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2017-28036(P2017-28036A)

【公開日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-005

【出願番号】特願2015-143473(P2015-143473)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/00 (2006.01)

H 0 1 B 7/00 (2006.01)

H 0 1 B 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/00 K

H 0 1 B 7/00 3 0 6

H 0 1 B 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月20日(2018.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体に固定される通信ケーブルであって、

前記筐体に形成された開口部に挿通された際に前記開口部からはみ出す長さを有するケーブル部と、

前記ケーブル部に取り付けられ当該ケーブル部が前記開口部に挿通された際に前記筐体の内側に配置されることになる内側ブッシュと、

前記ケーブル部に取り付けられ当該ケーブル部が前記開口部に挿通された際に前記筐体の外側に配置されることになる外側ブッシュと、

を備えたことを特徴とする通信ケーブル。

【請求項 2】

前記内側ブッシュには、前記筐体内に配置された部品あるいは前記筐体の内壁部の一部との接触を避けるための切欠部を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の通信ケーブル。

【請求項 3】

前記内側ブッシュ及び前記外側ブッシュは、前記ケーブル部を三方から囲む肉厚部を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信ケーブル。

【請求項 4】

前記内側ブッシュ及び前記外側ブッシュは、前記ケーブル部の外周を一周して取り付けたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の通信ケーブル。

【請求項 5】

前記内側ブッシュ及び前記外側ブッシュは、前記開口部の周囲の壁面部に対して斜め方向から当接する当接面を有することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の通信ケーブル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記目的を達成するために、本実施形態は、筐体に固定される通信ケーブルであって、次の構成要素（１）～（３）を備えている。

（１）前記筐体に形成された開口部に挿通された際に前記開口部からはみ出す長さを有するケーブル部。

（２）前記ケーブル部に取り付けられ当該ケーブル部が前記開口部に挿通された際に前記筐体の内側に配置されることになる内側ブッシュ。

（３）前記ケーブル部に取り付けられ当該ケーブル部が前記開口部に挿通された際に前記筐体の外側に配置されることになる外側ブッシュ。